

筑波大学新聞 第297号

雑誌名	筑波大学新聞
号	297
発行年	2011-12-05
URL	http://hdl.handle.net/2241/00123357

筑波大学新聞

第297号

編集責任
筑波大学新聞
編集代表
荻野祥三
TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

つくばマラソン 1万3592人が走る
2
大学教育に求めるもの 3
3
タムラサトル展 本学卒業生が展示 5
5
ラート 田村が4連覇達成 6
6
2年ぶりの優勝果たす 6
6
来年1月に開店予定 7

連載 4

検証
自転車の海つくば

おことわり

今月号は8面構成で発行しました

本学発ベンチャー サイバーダイナ

耐放射線HAL開発

原発での活用に期待

本学発のベンチャー企業「サイバーダイナ」(本社つくば市学園南)は11月7日、放射線の被曝量を減らす重い防護服を着ても楽に作業で、山海嘉之教授(シス)



放射線防護服の重さを支える新しいHALを紹介する山海教授

HALはもとより歩行支援などに使われる医療・福祉用のロボットスーツで、今回開発されたのはその改良モデル。今年の7月に依頼を受け、約2カ月で開発した。いまだに事故の収束の見通しが立たない東京電力福島第一原子力発電所など、放射線量が高い場所での作業に活用されることが期待される。

現在事故の収束作業に当たっている作業員が着る白い作業服は、放射性物質の肌への付着は防いでも、ほとんどの放射線は遮ることができない。だが、放射線を遮ることのできるタンクステン製の防護服は重さが40〜60kgあり、これを着たまま長時間作業するのは困難だった。

改良版HALでは、金属の強度を上げ、重い防護服を支えるために、肩から腰にかけてフレームが追加された。足の動きに合わせて関節が曲がり、足腰を支えることで、最大60kgの防護服を着ても重さを感じない。放射線被曝量はほぼ半分に減る。1回の充電で作業できる時間は、約1時間半。量産化できれば、1台あたり年間約300万円です。

サイバーダイナでは福島原発のがれき撤去作業など、現在でも作業員が入れられる程度の放射線量での作業で実用化を目指している。原子炉建屋内などは、これまで放射線量が高い場所に使

スパコン「京」

ゴードン・ベル賞受賞 ソフト開発に本学関わる

本学、理化学研究所(以下理研)、東京大学、富士通株式会社の研究グループがスーパーコンピュータ「京」を用いて行った研究が11月18日、スパコンのノーベル賞と称されるゴードン・ベル賞の実効性能部門で最高性能賞を受賞した。同賞は毎年行われるス

パコンの国際会議で、ハードウェアとソフトウェアの開発で最も優れた成果をあげた論文に付与される。受賞した論文は、朴泰祐教授(シス情)、高橋大介准教授(同)、辻美和子研

究員(計算科学研究センター)らの論文「京」による1000000原子シリコン・ナノワイヤの電子状態の第一原理計算。シリコン・ナノワイヤは次世代半導体の基幹材料で、ナノワイヤ断面の形によって電子の動き方が変わることが解明された。この研究により、次世代半導体を使用した回路をスパコンでシミュレーションし、より高性能、省電力で設計することができるとなる。

本学は最先端スパコン上で多数のCPUを有効利用するためのプログラムや、メモリを最大限に活用するアルゴリズム、百万台規模の並列処理に耐えるプログラムを開発し、システムが安定して動作するための工夫や改良を2年間にわたって行ってきた。今年4月、京の一部が試験的に使えるようになってからは、京のシステム上でさらに性能向上

上と大規模化を進めた。この研究グループは「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用」プロジェクト(現「HPCIの構築」)開始当初の2006年から、京の活用について共同研究を行っており、今回の研究はその一環。

計算科学研究センターでは、今回の受賞について「研究の元となったプログラム開発と大規模化及び性能評価が、本学の研究者とスパコンによって行われ、最先端の計算科学研究における成果に結びついたことは重要な意義を持つ」と話した。京は理研と富士通で共同開発中のスパコンで、1秒間に1京回以上の計算をこなす。スパコンの総合性能を評価する「HPCチャレンジャ賞」でも、4つの部門全てで1位を獲得した。この賞でも本学はプログラム

の高速化に貢献している。本学は最先端スパコン上で多数のCPUを有効利用するためのプログラムや、メモリを最大限に活用するアルゴリズム、百万台規模の並列処理に耐えるプログラムを開発し、システムが安定して動作するための工夫や改良を2年間にわたって行ってきた。今年4月、京の一部が試験的に使えるようになってからは、京のシステム上でさらに性能向上

荒川静香さんが公開授業

人生観や職業観を語る

2006年トリノ冬季五輪金メダリストでプロフィールギニアスケーターの荒川静香さんを講師に招いた公開授業が11月14日に行われた。荒川さんは「自分の意識を高める」という表題で、自らの人生観や職業観を語った。会場となった3A204教室は約300人の学生や教職員で満席となり、世界の舞台で活躍した荒川さんの言葉に熱心に耳を傾けていた。

今回の講義は未来構想大講義「勇者の鼓動―未来を創るスポーツ王国論―」の一環。これまでも海洋冒険家の白石康次郎さんや元水泳選手で俳優の藤本隆宏さんなどを講師に招き、スポーツを通して起業やビジネスについての講義を行ってきた。

荒川さんはスケートや勉強、アルバイトなど多くのことを両立していた自身の大学時代の生活を紹介。自分自身の努力を示すには結果を出さないとはいけな。自分に言い訳をして自分に甘くなることもできるが、それで結果を出せるわけではな。どうすれば結果を出せるかをずっと考えていた」と話した。

また、自己評価と周囲の評価が大きく異なり、一時期メディア嫌いになった過去も紹介。周囲と自分の評価の差に関して「周囲は順位や結果しか見ない。自分自身がやっていることを信じる力が弱い間は、周りに感化されることが多かったが、メディアなどに向き合っていくことで、新しい角度から対処できた」と物事に対する見方を変え、周囲に新たな可能性を知ることができると語った。

現在荒川さんはプロのスケイターとしてさまざまなアイスショーに出演しつつ、「フレンズ・オン・アイス」というアイスショーをプロデュースしている。講義では受講生がアイスショーのビジネスプランについて提案する企画もあった。アイスショーのチケット代は6000円から2万円と高く、なかなか観客が集まらないという現実がある。「アイスショーに興味がある人をボランティアで運営スタッフとして採用すれば人件費が抑えられ、チケットが安くなる」という受講生のプランに荒川さんは「人件費が抑えられるだ



学生らに力強く語る荒川さん

けでなく、より近いところでアイスショーに触れることができるプランだ」と応えた。講義の最後に「自分を常に見つめることで、自分と向き合い、今を大切に生きていくことができる。一日一日を大切に精一杯楽しんでほしい」と話した。この授業を受けた伊東佳穂さん(生資2年)は「自分の将来を考える上で、いろいろなことを手抜きせずに行っていくと思うようになった。私もバイトやサークルなど掛け持ちしているが、どれも本気でやっていた」と話した。



つくば歳時記

初冬、すっかり葉が落ちた駅前の木々に、やさしい光の雪が降り積もる。厚着の子どもたちが駆け回り、恋人たちが足を止めて美しい景色に見とれる。(撮影・中島光夫=情報科学類)

筑波63

今年もつくばマラソンが開かれた。本学には「つくばマラソン」という授業があり、毎年200人もの学生が受講、筆者も初のフルマラソンに挑んだ▼4時間31分06秒で完走した達成感は格別だった。だが、30kmからは足に乳酸がたまり、経験したことのない足の重さに苦しんだ。とっても楽しい42.195キロでし

た。とゴール直後のインタビューで笑顔で話した2000年五輪金メダリスト高橋尚子さんのすごさを改めて感じた▼4月。朝7時から1人で走った。練習量を増やすぎて膝を痛め、1カ月走れなかった6月。暑さを避けて深夜に黙々と走った夏。完走するんだという気持ちが孤独な私を突き動かした▼レース中は1人ではなかった。治道からは多くの声援。声をかけられるとなぜか力が湧いてくる。同じTシャツを着た「つくばマラソン」の受講生は名前がわからなくても、「がんばれ」を掛け合い、レース後も健闘をたたえ合った。共通体験が新たなつながりを生んだのだ▼現代は人と人との関係が希薄な「無縁社会」と言われる。だが、マラソンで感じた絆は無縁社会を打破する希望の光だと確信した。今後はいろいろな人に声をかけてみようと思う。もしかしたらその人は1カ月誰とも話をしていない人かもしれないから。

第 5 回つくば 3 E フォーラム

つくば発の震災復興支援を

環境・エネルギー分野の研究紹介 つくば市ができる貢献を議論も

第 5 回つくば 3 E フォーラム (主催 〓つくば 3 E フォーラム委員会、筑波大学) が、11 月 12、13 日につくばカピオホール (つくば市竹園) で開かれた。12 日は「つくば環境スタイル」を、13 日は「震災を経て



藻類エネルギーの持つ可能性を語る渡邊教授

つくばが未来の日本に貢献できることをテーマに、本学教員やつくば市職員、各研究機関の研究者による講演が行われた。環境問題やエネルギー問題などの対

で研究開発が進められていることが紹介された。また「藻類から生産されたオイルを使うことで、新エネルギーを生かしたまちづくりを行うことができる」と渡邊教授は話した。会場の外では、藻類由来のオイル 30% を含む燃料で動く耕運機の実演も行われ、来場者の注目を集めた。

また、13 日には、山海嘉之教授が「未来の日本に貢献できることをテーマに、本学教員やつくば市職員、各研究機関の研究者による講演が行われた。環境問題やエネルギー問題などの対

と、会場からは驚きの声が上がった。また、放射線被曝量を低減するために新たに開発された H A L が紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていた。(一面に関連記事)

日本 e-Learning 大賞 本学教授らが文科大臣賞受賞 他大学の授業視聴が可能に

を、自由に映像を通して受講できることが最大の特徴。教員側にも他の教員の授業を自由に視聴し、授業内容に生かせるメリットがある。複数の大学の連携を可能にし、高等教育の質向上に寄与できる取り組みであることを評価され、今回の受賞に至った。

全学的ネットワーク構築 支援活動の円滑化を図る

東日本大震災の復興支援のため、本学は 11 月 24 日、東日本大震災の被災地域の復興・再生に向けた支援活動組織として「復興・再生支援ネットワーク」を発足させた。

や支援が課題だった。そこで「復興・再生支援ネットワーク」の事務局を設置。全学的に被災地の復興・再生に取り組み体制を構築、活動を効果的、円滑に実施することを目的とし、窓口の一元化により情報の収集、発信などを行う。

また、復興・再生支援活動の一環として、本学はこれまで茨城県潮来市、神栖市、北茨城市、福島県いわき市、伊達市と震災復興事業に関する協定を締結した。この協定により、教職員が被災地域に直接赴いて調査などの活動をより円滑に行えるようになる。復興・再生支援活動が加速することに対して、地方自治体からの期待も高い。

大内内教授は「今回の受賞は、筑波大学が開発した e-Learning プログラムが、教育システムとして先進的であると高く評価されたという点、非常に喜ばしい」と今回の受賞に関して語った。

椅子デザインソフトを開発 誰でも簡単に操作

科学技術振興機構 (J S T) の戦略的創造研究推進事業 E R A T O の五十嵐テザインインタフェースプロジェクトで研究を進めている本学の三谷純准教授 (シ

れ、物体を變形しない剛体であると仮定して計算を行う方法で実現されている。完成した椅子は板を組み合わせて作る構造になっており、その部品図はソフトが自動的に算出する。これをレーザーカッターなどで切り出し、手順に従って組み立てれば完成だ。椅子だけでなく、テーブルやベッドなどの家具への応用が期待されている。

海外ではこのソフトで作ったデータを工房に送ることで、実際の椅子を提供するというビジネスが立ち上がっている。三谷純准教授は「既存の家具を買うのではなく、自分でデザインして作るというものが、誰かが自由にできるようになれば」と話した。

方から声をかけて頂き、海外でプレゼンを行うことになりました。そんな私ですが、元々は基礎工学類の出身で、大学・大学院での専攻は、建築構造に関するもの。ソフトウェア開発との関わりは、研究で少し触った程度でした。大学院時代に、今後のソフトウェアの可能性にひかれ、S E を志し、今日に至るのですが、自分が、雑誌の取材を受けたり、世界の舞台でプレゼンを行う日が来たりするとは、就活のときはもちろん、入社

つくばマラソン 1 万 3 5 9 2 人が走る

本学からも多数参加

エコシティー第 31 回つくばマラソン (主催 〓本学・つくば市など) が 11 月 27 日に行われた。42・195 ㌾のフルマラソンと 10 ㌾の部門が行われ、1 万 3 5 9 2 人のランナーが参加し、本学構内を発着点に、晩秋のつくば市内を力走した。



続々とゴールするランナーたち

フルマラソンは本学をスタートし、北部工業団地を経由して豊里戸舎で折り返して陸上競技場へ戻るというコース。沿道では多くの市民が懸命に走るランナーを応援していた。

早くも疲れてしまったが優勝できてうれしい。1 位を狙うつもりはなかったのに驚いている」と話した。今年のゲストランナーには、10 ㌾の部 (女子) で、

茨城ゴールデンゴールズ監督兼内野手の片岡安祐美選手などが招かれた。片岡選手はフルマラソンのスターターもつとめ、ランナーに激励を送った。




Acroquest Technology 株式会社

鈴木貴典さん

自分の可能性を広げる

は、自由な映像を通して受講できることが最大の特徴。教員側にも他の教員の授業を自由に視聴し、授業内容に生かせるメリットがある。複数の大学の連携を可能にし、高等教育の質向上に寄与できる取り組みであることを評価され、今回の受賞に至った。



手紙

品質会議」(http://www.5wscq.org/en/home.html) というカンファレンスに参加してきました。このカンファレンスは、アメリカ・アジア・ヨーロッパのコミュニティが中心となり、全世界のソフトウェア品質の専門家が集まり、幅広い議論を行う国際会議です。3 年毎に開催されており、第 5 回目となる今回は、初の中国 (上海) での開催。全体としては、5 日間かけて 52 人ものスピーカーによる、各企業や研究における品質改善の取り組みが発表されたのですが、著名な経営者や、第一線で活躍するエキスパートによる基調講演のほか、ソフトウェア品質について議論を交わすグループディスカッションなど、盛りだく

反射鏡

研究と共に

教育も重視

田幡琢磨(人文3年)

「先生が自分の話したい

Development)実践の中心とするのです。FDとは大学教員の能力開発のこと、大学の授業改革のための組織的な取り組み方法を指しています。

忘れてほしくないのは、大学というのは、教員、職員、学生、行政によって

改革が目的化 明確な理念を

隅田聖彦(国総4年)

働く。だから、大学院のことはよく知らない。「大学教育に求めるもの」とテーマを頂いたが、もっぱら学群教育についてだけ考えた。

分かりやすい 授業内容に

パク・イェジン
(生資3年)

筑波大学に入学してから、3年の月日が流れた。1年生になったばかりの気持ちを今考えてみると留學生でありながらも何の心配も、悩みもなかったように思われる。素直に言うところ、日常生活の日本語であまりトラブルがなかったためである。しかし、実際授業を受けてみたら現状は違った。

で、生物資源学類の授業の内容がとても難しかった。私の勉強不足が原因かもしれないが、もっと一般の人

私ほ他に社会学類、社会学類、芸術専門学群の授業がないとしても、教科書や私のような留学生は授業へ

すが、そのハンディをみじんも感じさせることはありません。その元気がはけた外れで、こちらが注意してもちょっとやそっとのことでは言っている聞きません。時間

カトウ、今日は何作るんだ?」と行きつけの市場のおばちゃんの水がつかまれば、知り合いに電話

最近そんなベトナム人に囲まれて生活する中で周りのベトナム人からもベトナム人になるって

筑波大学に望むのは、現在東京にある「大学研究センター」を筑波キャンパスに移し、FD(Faculty

学生が大学で行うべきことは、この変化の激しい時代を生きていく推進力を「自分を知る」という

はおかしいと感じる国民も多いだろう。TPPの賛否に関わるマスコミ

納口子 り子 はおかしいと感じる国民も多いだろう。TPPの賛否に関わるマスコミ

で、日本の130倍である。次に、米国は不足払い制度のもとで、膨大な農業保護を行っている。

私ほ高校まで文系だったの

ベトナムのハノイに住み始めて8カ月が経とうとしています。4月から大学を一年間休學してボラ

何といっても並外れた人々の明るさ、そして街で会った人とも話したり、気軽に友人になれる気さ

は、年下の人に対して「om(息子)」「oi(姉)oi」と呼ぶなど、家族以外の場所にも家族

彼らは考え方もとてもユニーク。路上でみわりの種を食べながら一服し、話に興じる人々、毎日仕事が終われば、近所に住む親

彼らは考え方もとてもユニーク。路上でみわりの種を食べながら一服し、話に興じる人々、毎日仕事が終われば、近所に住む親

筑波時評

TPPが締結されれば、国内農業に壊滅的な影響を及ぼすことが懸念される。農林水産省は、食料自給率が現在の40%から14%に低下する、と試算している。アメリカ

業という印象を与える。日本農業は現在においても既に衰退の道をたどっており、いずれは大幅に生産縮小すると一般に理解されている。農業者の主体的な努力なしに、ただ保護を求めるの

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

TPPの内容は少しずつ国民に知らされてきて

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

TPPと農業 性急な交渉参加は疑問 まずは明確なビジョンを

TPPと農業

性急な交渉参加は疑問

まずは明確なビジョンを

性急な交渉参加は疑問

まずは明確なビジョンを

性急な交渉参加は疑問

まずは明確なビジョンを

性急な交渉参加は疑問

まずは明確なビジョンを

性急な交渉参加は疑問

業という印象を与える。日本農業は現在においても既に衰退の道をたどっており、いずれは大幅に生産縮小すると一般に理解されている。農業者の主体的な努力なしに、ただ保護を求めるの

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

TPPの内容は少しずつ国民に知らされてきて

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

TPPの内容は少しずつ国民に知らされてきて

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。

人々との絆と縁が魅力



ベトナムの友人と1枚



国際ボランティア

(ベトナム)

加藤茂行

ベトナムのハノイに住み始めて8

8カ月が経とうとしています。4

月から大学を一年間休學してボラ

ンティア団体が運営する恵まれない

子供たちのための仮設の学校で、

5カ月間料理を作り、9月からほ

別の団体で現地のベトナム人と

ともにボランティアをしています。

街の中心部を流れるホン河流域

には学校に行くための出生証明書

のない子供たちがたくさん住んで

います。経済発展の中、地方から

上京した親が仕事を求められな

ったため彼らは川の上に簡素な家

を建てて生活しています。

貧しくて恵まれない子供たちで

は、年下の人に対して「om

(息子)」「oi(姉)oi」と呼ぶ

など、家族以外の場所にも家族

の人が年上の人に対して敬意を

払い、逆に年上の人が面倒を

みるのが当たり前の。毎朝学校のそばにある路上市場に行く「Kato oi



次号のテーマは
忘れられない出会い

先
TEL 029-853-6000
E-mail shinbun@sakura.ac.jp
Twitter @ut-shinbun

き、仕事終りのおじさんたちの卓球マッチが始まります。トイレの水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

水がつかまれば、知り合いに電話

なっていることがわかった。

しかし、現実の駐輪需要はまだ把握できておらず、需要を満たしているのかどうかの判断には、今後の調査が待たれる。

駐輪場の問題は単なる駐輪自転車飽和の問題にとどまらない。障害を持つ学生め、自転車での通過を禁止

が通れず、来なくても来られない状況が続いていた」と土子さんは振り返る。

また、今年9月からは第二エリアの人間学系棟A棟とB棟の間に自転車通行規制区域が設けられた。こ

アートギャラリーT+ 卒業生のタムラサトル氏が展示



まばゆい光を放つ「6A214のための接点」

斬新な世界観を表現 トークイベントも行われる

本学OBで現代美術家のタムラサトル氏の作品を展示する「6A214のため

の接点」が、11月7日―18日に6A棟のアートギャラリーT+（ティータ）で開催された。11月10日には、タムラ氏とアートプロデューサーである小田井真美氏によるトークイベントも行われ、現在のアートシーンについてなどが語られた。アートギャラリーT+は、芸術系の学生・教職員の制作の発表の場として設けられている。

タムラ氏は、目標や主張を持たせない、「作品そのものが目的」という考えのもと、インパクトの強い芸術作品を世に生み出している。今回展示された「6A214のための接点」もまた、とても印象深い作品で、回転するチェーンから吊り下げられた金属の棒が、金属板をすることで接点部分から火花を散らす。そし

て同時に、壁に取り付けられた大小さまざまな白熱灯が点灯する。金属の棒が金属板から離れると同時に白熱灯の光は消えるが、ベル

今井凌雪氏遺作小品展 遺作 14 点を展示 作風の魅力を伝える

今年7月に逝去した本学名誉教授今井凌雪氏の遺作小品展が、大学会館アートスペースで10月18日―12月11日まで開催されている。今井氏は東京教育大時代の1971年から86年まで本

学教授を務めた。展示会では、その遺作14点が展示される。会場に展示される作品は、太筆で大胆に書かれたものから、扇形や円形の紙に小筆で書かれたものまでさまざま。それぞれが異なる趣を持ち、個性豊かな作風を楽しむことができる。遺作展を鑑賞した橋口真子さん(芸専2年)は「自分が普段書いている作品と時代が近い先生の作品の墨の入り具合が好き」と話し、作品に見入っていた。

今井氏は奈良県文化賞、日展文部大臣賞、日本芸術院賞など数々の賞を受賞。故黒澤明監督の映画「乱」「夢」「まあだたよ」の題字を書いたことも有名。NHKの趣味講座への出演などを通して、書道の社会への普及に務めた。

学び、それを土台として独自の書風を打ち出した「新古典派」として、戦後の書道界で早くから注目を集めた。東洋独自の芸術である書術は、あらゆる名作品の作風を学ぶことで独自の表現が可能になる、という理

トコンペアに合わせて、再び火花が散る。その動きが延々と繰り返されていた。展示を見た女子学生は「不思議な作品だった。電

気がついている状態を作品にするのではなく、一連の動きそのものを作品として見るのに驚いた」と語った。タムラ氏は芸術専門学群

総合造形領域を平成6年度に卒業。今回の展覧会は、昨年行われたT+スタッフの同氏へのインタビューがきっかけとなり実現した。



独自の書風に見入る来場者

り、そのレベルは年々向上している。実際の環境で実験しないと分からないことがあるため、つくばチャレンジを通してその課題に参加者全員で挑戦してほしい」と語った。

つくばチャレンジ 全国から自律ロボット集まる 6台が完走果たす

人間が生活する実環境で自律的に行動するロボット技術を競う「つくばチャレンジ」が、11月15、16日につくばセンター周辺で行われた。全国の大学の研究室やロボットサークルなど69の団体が参加し、本学からも5団体が参加した。15日のトライアル走行で完走した25台が16日のファイナル走行に挑み、6台のロボットが完走した。本学からは「筑波大学知能ロボット研究室」で、つづば「のびる」が完走した。「ファイナル走行はエキス



ペDESTリアンデッキを自律走行する本学のロボット

筑波自然図鑑

◇キビタキ (メス) ◇



撮影地=つくば市内

夏鳥として愛される、スズメ大の野鳥・キビタキ。秋の訪れと共に越冬地である東南アジアへとこの小さな体で旅をする。まだあじけなさが残る写真の個体は、そんな渡りの途中で市街地に立ち寄ったのだらう。撮影者の話では窓ガラスに衝突したのち飛び去ったという。野生生物の動線を妨げない街づくりと、この個体の無事な旅を望んでやまない。(写真=田中裕人、生簀3年、文芸松尾恵梨子、生物3年、野生動物研究会)

大学会館書籍部ベストセラー

1	スティーブ・ジョブズ 2 W・アイザックソン/講談社
2	スティーブ・ジョブズ 1 W・アイザックソン/講談社
3	'13 就職四季報 総合版 東洋経済新報社
4	謎解きはディナーのあとで 2 東川篤哉/小学館
5	'13 最新最強のSPI クリア問題集 成美堂出版

第1位・第2位には、今年10月に死去したスティーブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発売されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

筑波大学 出版会 近刊案内

気候システム論

ーグローバルモンスーンから読み解く気候変動ー
植田宏昭 著

猛暑、豪雪、集中豪雨……異常気象は、なぜ起こるのか。これからの気候はどうなっていくのか。それらを読み解くためには、地球規模の気候システムの中で複雑に影響しあっている大気や海洋、陸面などの様々なサブシステムを理解することが必要である。

クリスマスライブ

本学アカペラサークルDoorWoopによるクリスマスライブ「Christmas Live 2011」が、12月17日(土)につくばカピオホール(つくば市吾妻)で開催される。午後5時半開場、午後6時開演。入場料は前売り500円、当日600円(小学生以下は無料)。

応援部 WINS

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行なっているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

DC展

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時まで(最終日は午後6時まで)。問い合わせ= minami122jp@yahoo.co.jp (樽井)

定期演奏会

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、1月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲」、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77」などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ= tsukuba.orch@gmail.com

世界ジュニア選手権大会

遠藤、背負い投げで優勝決める



遠藤宏美

柔道



世界ジュニア柔道選手権大会が11月3～6日に南アフリカ・ケープタウンで開催され、遠藤宏美(体専1年)が48kg級で優勝を果たした。

遠藤は順調に勝ち進み、決勝ではフランスの選手と対戦し、得意の背負い投げで有効を取り、優勝を決めた。

遠藤は「優勝できてうれ

西山・緒方・森下も好成績

五輪出場に期待高まる

講道館杯全日本体重別選大会が11月12、13日に千葉ポートアリーナ(千葉市中央区)で開催された。本学からは男子10人、女子6人が出場し、90kg級で西山大希(体専3年)が3位に、78kg級で緒方亜香里(同)が準優勝に輝いた。

西山は3回戦で山本宣秀(日本中央競馬会)と対戦。開始15秒で内股で一本を取られるも、敗者復活戦で勝ち進み、見事に3位に入賞した。

緒方は決勝で佐藤翔香(コマツ)と対戦。なかなか勝負が決まらずゴールデンスコアにもつれ込んだ。

専修大に敗れ3位

インカレ出場決まる

サッカー

第85回関東サッカーリーグ後期日程が、9月9日～12月5日に行われた。本学は12月1日現在、前期の結果と合わせて、10勝5敗6分3位につけている。

本学は今季、第15節まで好調をキープし、首位を占めていた。しかし10月29日に行われた第16節、中央大戦。終盤まで3-1とリードしていたが、後半40分にゴールを許し、1点差に。その後、後半ロスタイムにPKを決められてしまい、同点。リードを保つことができず、試合終了間際に引き分けに持ち込まれる結果となった。

追加点を許し、0-3と大敗を喫した。この結果、専修大との勝ち点差は3に。得失点差が大きく開いているため、本学の優勝は難しくなった。

しかし5位の早稲田大が、15人の選手が1つになり、ボールを狙うラグビー。その中でボールをタッチラインへ運び、トライを奪うのが竹中祥(体専1年)の役割だ。

竹中は10月23日に行われた早稲田大学戦に左ウィングとして出場。右ウィングの彦坂匡克(同3年)とともにトライを奪い、勝利に大きく貢献した。

大東文化大は60射36中、中攻の都留文科大は60射34中、後攻の本学は60射45中で、大きく差をつけ1位に。女子個人では谷口志緒里(体専2年)が60射51中で優勝に輝いた。男子個人では神野皓平(応理3年)が80射70中で4位となった。谷口は「女子部員の人数が少ない中、苦戦しつつも優勝できてよかった。今後もより上を目指して頑張りたい」と話した。



立競技場(東京都新宿区)など会場に行われる。個人成績では12月1日現在、赤崎秀平(体専2年)が10得点で、得点ランキング3位。上村岬(同)が5アシストでアシストランキング3位につけている。

後期の結果は以下の通り。▽筑大3-3中央大▽筑大1-2明治大▽筑大1-12神奈川大▽筑大1-1早稲田大▽筑大1-0流通経済大▽筑大0-3専修大

あたる技術だ。普段の練習の中でも個人技を取得するための練習に力を入れている。彼の練習への姿勢について古川監督は「他の選手からのアドバイスにきちんと耳を傾け、自分の欠点を克服しようとしている」と語る。

全日本ライト競技選手権大会

田村4連覇果たす

高橋、堀口も準優勝

体操



第17回全日本ライト競技大会選手権が11月12、13日に東海大学開元工学部体育館(静岡県沼津市)で開催された。本学勢は、男子の部では田村元延(体育9年)が個人総合で優勝、高橋靖彦(同)が準優勝、女子の部では堀口文(体専3年)が個人総合で準優勝するなどの好成績を残した。

このうち田村は個人総合4連覇ならびに全種目で優勝するという快挙を成し遂げた。田村は「個人総合で4連覇したことは率直にうれしく思う。7年間のライト生活で多くの人に支えら

れていることを改めて実感している」と語った。

女子の部では堀口が個人総合優勝のほか、種目別直点、跳躍で優勝を果たした。「直転で9点台、跳躍で8点台を目指して練習していたので、その目標が達成できてよかった」と堀口は語った。

今大会の結果、堀口と田村、森更紗選手(平成19年度体育専門学群卒)が2012年3月にスイスのバール市・ドイツのラムシュタイン市で開催される世界ラートチームカップの日本代表に選ばれた。田村は結果はかりに固執せず、自分が今持っている最大限

全日本女子学生剣道優勝大会

2年ぶりの優勝果たす
男子 新人戦大会でベスト8

剣道



第30回全日本女子学生剣道優勝大会(主催=全日本学生剣道連盟/毎日新聞社)が11月6日、春日井市総合

一方、今後の課題として「今のように、選手同士が支え合える体制が理想。結果にはこだわらず、まずは自分を見つめ直す機会として、今回のようにお互いが切磋琢磨できるような試合をしてほしい」と有田監督は話した。また、今回の試合に最年少の選手として出場した前田紫帆(体専2年)は「三苦さんのようにチームを引っ張り、思い切りの良い自分らしい試合をしたいと思う」と抱負を語った。

第57回関東学生剣道新人戦大会が11月20日、東京武道館(東京都足立区)で行われた。

4回戦までは順調に勝ち上がったが、続く慶應義塾大戦で面をくらわれて一本負けとなり、ベスト8入りに

弓道

関東学生弓道選手権
女子団体・個人
ともに優勝

第43回関東学生弓道選手権大会決勝大会が、11月6日に東京武道館(東京都足立区)で行われた。本学女子は団体、個人ともに優勝を果たした。

女子個人では谷口志緒里(体専2年)が60射51中で優勝に輝いた。男子個人では神野皓平(応理3年)が80射70中で4位となった。谷口は「女子部員の人数が少ない中、苦戦しつつも優勝できてよかった。今後もより上を目指して頑張りたい」と話した。

チーム一丸のラグビーを目指して



33年ぶりの早稲田大戦勝利に貢献

竹中祥(体専1年)

休日の過ごし方について「家事をするのが好きで、洗濯や掃除をしながら休むを取っている」と語る。性格は温厚でポジティブ。人を決めることではない。

1年生ながら、33年間勝てなかった早稲田大戦での勝利に貢献した竹中。彼のチームワークを中心にしたラグビーがこれから楽しみだ。(ジョーン・シニル社会学類)

Who's Who?

漫画「爆弾にリボン」の作者

山本美希さん(芸術後期1年)



デビュー作「爆弾にリボン」を持つ山本さん

スケッチブックを抱え、家を飛び出す。時折筆をとり、気の向くままにいろいろなを描く。「家にいるより、雑踏に身を置く方が性に合う」。漫画家として活動する山本美希さん(芸術後期1年)は、そう語る。

芸術専門学群の卒業制作が、デビューの契機となった。吹き出しやセリフがない漫画「爆弾にリボン」が、「菱ケミカル・ジュニア・デザイナー・アワード」で2009年、日比野克彦・東京芸術大学教授による審査員特別賞

漫画通し自分の表現を追求
女性の生き方描き出す

受賞。後に即売会や編集者の目に止まり、今年7月「爆弾にリボン」のタイトルで単行本化された。
作中では、主人公の女子中学生が不安や葛藤を抱きながらも、「大人の女性」になることを選択する。その過程を文章なしで、イラストの流れだけで描き出す。山本さんも中学生のころに思春期を迎え、体が女性的に変化していく中で、大人の女性になっていく自分を、なかなか受け入れられなかった。「社会に出る前に当時の気持ちを作品にしたい」と考え、テーマを選んだ。

「女性の生き方」という題材は、その後の作風にも通じている。さまざまな背景や環境に身を置いて、女性たちがどう振る舞うのかを表現する。講談社主催の「第29回マンガオースティン大賞」に選ばれた『サニー・サニー・アン』の主人公は外国人で奔放な性格だ。自分とは全く異なるキャラクターの生き様を見てみたい、との思いで描いた。子どもから少女漫画が好き

進学後2年間で12回もの展覧会に参加した。即売会にも積極的に出店した。編集者と知り合い、作品を売り込むことができた。仕事ももたらした。「プロや読者から思いがけないフィードバックを得る機会にも恵まれ、より良い漫画をつくる工夫につながった」と山本さんは語る。作品づくりにも集中でき、多数のコンペティションやコンクールに応募、受賞して雑誌に掲載された。着実にキャリアを歩んでおり、現在いくつかのプロジェクトを請け負っている。どんな漫画を描いていきたいと意気込む山本さん。「尊敬する岡崎京子さんの作品の、さらに先を行くものを作りたい」と夢を語りながらも、「自分にはまだ大きな道程がある」と。 (宇治田輝之「国際総合学類」)

次号は

2月6日(月)

発行予定です

編集後記

編集期間の真只中、私はつばマラソンに出場しました。着たTシャツには編集部員が書いたメッセージが。しかし、何よりも上に書かれたのは「12月5日発行」。私は走る広告塔の役割を背負わされたようでした。
次号からは叱咤激励のうまい編集長のもと、よりよい新聞をお届けできることでしょう。(編集長・西川大照「社会学3年」)

耐放射線HALを開発



旧谷田部庁舎での実演の様子(写真提供=サイバーデザイン)

1面へ

荒川静香さん、公開授業



講義後に学生と言葉を交わす荒川さん

1面へ

晩秋のつくばを駆ける



声援を受けながら、ランナーたちは一斉に走りだした

2面へ

ラート 個人総合4連覇、全種目で優勝



全日本ラート競技選手権大会で演技する田村(写真提供=体操部)

6面へ

学内総合

学内総合

学内総合

スポーツ